

令和元年度為桜祭を振り返る

6月7日、8日に行われた、「令和初」を謳った為桜祭は無事成功に終わった。為桜祭の成功を支えたのは為桜祭の大部分を占めた「音楽」であった。



1日目の前夜祭は吹奏楽部の演奏から始まった。吹奏楽部は『学園天国』等を演奏し、場を一気に盛り上げた。吹奏楽部の演奏中に合いの手が入り、体育館中が盛り上がった場面は印象的であった。軽音楽部の演奏では生徒がステージに押し寄せ、短い時間をあつた。吹奏楽部の演奏では生徒がステージに押し寄せ、短い時間をあつた。吹奏楽部の演奏では生徒がステージに押し寄せ、短い時間をあつた。

2日目は雨が心配されていたが2年3組のテンントに提げられていた、何とかならずに済んだ。各クラスによるクラス企画が行われていることと並行して屋外ステージで有志のグループによるパフォーマンズが行われた。1日目に成功を収めた「いおコレ」のダンス部門が正午より開催された。各クラスの代表者がダンス練習の成果を発揮する中、会場の笑いを誘ったのは2年5組であった。将棋の駒の衣装を身に付けて『ようかい体操』を踊った。将棋と妖怪という異色な取り合わせで会場を大いに盛り上げた。一般公開終了後、本校生徒・教職員のみでの18祭が行われた。軽音楽部の演奏が終わった後、即興のDJが始まり、生徒の熱気は一層高まった。為桜祭の盛り上がりが高潮に達した瞬間であった。心に残る為桜祭となった今回の為桜祭は「音楽」の力を再認識する場であった。

(稲葉)

論説

5月1日に新元号令和を迎えた。日本の歴史では248番目の元号で、その典拠は日本の最古の和歌集である万葉集に由来する。さらに新天皇即位に伴い、今年のゴールデンウィークは10連休となり、皆さんもこの大型

目安箱に意見を入れて

皆さん、下高には、目安箱というものがあつた。今回は、我が校の目安箱の知名度を上げたという思いも込めて、生徒会本部に質問をした。

「目安箱に意見が入ったらどういう対応をしますか。対応方法を具体的に教えてください。」

「まず、生徒会役員の中で情報の共有をし、その後、その意見について話し合い、意見を出しあいます。そして、実行可能かを先生方と話し合い、少しづつですが解決に近づけていきます。」

「いつから目安箱に意見が入っていないですか。分かる範囲で教えてください。」

「文化祭前に1度確認はしているのですが、約1ヶ月ほど前からだと思います。」

「目安箱のアピールをお願いします。」

「生徒のみならず必ず通る、昇降口付近に設置してあるので、気軽に意見を入れやすく、しっかりと罪を償ってほしい。」

「このように、この最近の社会では私たちの常識では考えられないほどの非常識な行動が後を絶たない。このような事件を見聞きするたびにとても心が痛む。皆さんもぜひ今社会で起きている様々なこと、目を向け、自分の意見や主張をしっかりと持つてほしいと思う。」

(渡邊)

(矢吹)

連休を楽しんだことである。だが、時代が変わっても衝撃的な事件がこつこつとあり、世間を大きく騒がせている。

2019年5月28日午前7時45分に神奈川県川崎市多摩区で起きた、通り魔殺傷事件を覚えていらっしゃるだろうか。その事件で驚くべきことは何と云っても、被害者の多さだろう。僅か数十秒の間で保護者の女性と男性、そして、近辺の小学校に通う児童17人が犠牲になり、このうち2人は死亡し、さらに容疑者自身は自ら首を刺し、死亡した。

このような惨劇で大きな事件が起ころうか。小学生たちはいつ

いかと思いますので、ぜひ意見を出していただきたいです。

「生徒の皆さんにお願いしたいことがある。ぜひ教えてほしい。」

「氏名は書かずとも、学年だけは書いてください。守秘義務は厳守いたしますので、安心してください。内容については具体的に書いて頂けると助かります。」

以上が、生徒会本部からの回答だ。生徒会本部が積極的に生徒の意見を取り入れようと努めている。これを機に、皆さんの胸の中にある意見や不満、要望を目安箱に投じてみてはいかだろうか。きつと聞き入れてくれるはずだ。